



2025年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月10日

上場会社名 富士精工株式会社 上場取引所 名
コード番号 6142 URL <https://www.c-max.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 森 誠
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部門長 (氏名) 近藤 規央 TEL 0565-53-6611
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第3四半期の連結業績（2024年3月1日～2024年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	14,321	△12.3	△275	—	94	△89.8	△756	—
2024年2月期第3四半期	16,324	4.7	499	242.1	923	29.2	635	56.2

(注) 包括利益 2025年2月期第3四半期 △234百万円 (—%) 2024年2月期第3四半期 1,836百万円 (△6.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第3四半期	△211.53	—
2024年2月期第3四半期	177.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第3四半期	27,423	22,740	78.3
2024年2月期	28,704	24,416	76.7

(参考) 自己資本 2025年2月期第3四半期 21,485百万円 2024年2月期 22,012百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2025年2月期	—	25.00	—		
2025年2月期（予想）				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,720	△12.6	△680	—	△290	—	△1,210	—	△338.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期3Q	4,306,778株	2024年2月期	4,306,778株
② 期末自己株式数	2025年2月期3Q	730,154株	2024年2月期	729,962株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年2月期3Q	3,576,718株	2024年2月期3Q	3,577,141株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧州・北米地域での堅調な経済成長があった一方で、ウクライナ情勢や中東情勢の緊張の長期化が経済成長の不安定要因としてみられ、また、中国経済の成長鈍化が強く意識されました。これらの事象により、一層の物価上昇、景気後退を招く可能性もあり、当社グループの受注環境は依然として不透明感が続いております。

わが国経済におきましては、経済活動の正常化や大幅な賃上げ、緩和的な財政・金融政策などが景気を下支えし、緩やかな回復が続くとみられています。

当社グループの主要な取引先であります自動車産業界におきましては、型式認証不正問題などにより自動車生産台数が抑制的に推移してまいりましたが、BEVへの投資が継続されるとともに、ハイブリッド車を中心に生産台数の回復が見込まれております。

このような状況のもと、当社グループは設備投資による自動化、省力化を進め、生産性を向上させるとともに、小集団部門採算制による売上最大、経費最小、時間最短活動を進めてまいりましたが、主力製品であります超硬工具等の受注減少に歯止めがかからない状況となりました。

また、DX（デジタルトランスフォーメーション）推進を掲げ、基幹システム再構築に取り組んでおりましたが、開発の見直しを行ったことにより、特別損失の計上を余儀なくされました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は14,321百万円（前年同四半期比12.3%減）、営業損失は275百万円（前年同四半期は499百万円の営業利益）、経常利益は94百万円（前年同四半期比89.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は756百万円（前年同四半期は635百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①日本

当地域におきましては、顧客のガソリン車向け設備投資が抑制されたことなどにもなう工具需要の減少により、売上高は5,848百万円（前年同四半期比9.8%減）となりました。

また、経費節減の取り組みは進めているものの売上減少の影響が大きく、セグメント損失は552百万円（前年同四半期は127百万円のセグメント利益）となりました。

②アジア

当地域におきましては、中国において、従来のガソリン車向けの需要が著しく減少したことなどにより、売上高は3,706百万円（前年同四半期比14.2%減）となりました。

また、中国以外では業績の改善が進んだものの、中国での売上減少が大きく響き、セグメント損失は278百万円（前年同四半期は140百万円のセグメント損失）となりました。

③北米・中米

当地域におきましては、ハイブリッド車向けの工具需要が一服し、売上高は2,424百万円（前年同四半期比21.4%減）となりました。

また、ハイブリッド車向け工具の売上減少等の影響により、セグメント利益は315百万円（前年同四半期比12.8%減）となりました。

④オセアニア

当地域におきましては、主力製品であります断熱材、包装資材の輸入製品との競争などにより、売上高は1,745百万円（前年同四半期比2.8%減）となりました。

また、物価の上昇にもなう経費の増加などが利益を圧迫することとなり、セグメント利益は72百万円（前年同四半期比11.3%減）となりました。

⑤欧州

当地域におきましては、主要顧客向け工具需要が減少したことなどにより、売上高は596百万円（前年同四半期比6.3%減）となりました。

また、売上高の減少や原材料費の上昇等のコスト増加の影響などにより、セグメント利益は61百万円（前年同四半期比8.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は27,423百万円となり、前連結会計年度末と比較して、1,281百万円減少いたしました。これは主に、仕掛品が207百万円増加したものの、現金及び預金が710百万円、無形固定資産が487百万円、受取手形及び売掛金が353百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

②負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は4,682百万円となり、前連結会計年度末と比較して、394百万円増加いたしました。これは主に、未払法人税等が222百万円減少したものの、繰延税金負債が391百万円、賞与引当金が142百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は22,740百万円となり、前連結会計年度末と比較して、1,675百万円減少いたしました。これは主に、為替換算調整勘定が457百万円増加したものの、非支配株主持分が1,149百万円、利益剰余金が935百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は78.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の通期連結業績予想につきましては、2024年10月9日の「2025年2月期第2四半期(中間期)連結累計期間の業績予想数値と決算数値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,888,857	8,178,508
受取手形及び売掛金	3,202,172	2,848,858
電子記録債権	1,094,886	893,878
有価証券	697,598	776,914
商品及び製品	1,505,624	1,476,415
仕掛品	584,717	792,236
原材料及び貯蔵品	653,161	681,936
その他	575,417	546,257
貸倒引当金	△16,577	△12,186
流動資産合計	17,185,858	16,182,820
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,925,102	1,847,404
機械装置及び運搬具(純額)	3,588,295	3,663,303
土地	2,085,505	2,107,800
建設仮勘定	61,731	168,142
その他(純額)	263,191	268,603
有形固定資産合計	7,923,826	8,055,254
無形固定資産		
815,587		327,861
投資その他の資産		
投資有価証券	1,894,994	1,821,229
長期貸付金	4,994	8,680
繰延税金資産	71,055	246,553
退職給付に係る資産	678,556	678,556
その他	154,346	127,188
貸倒引当金	△24,846	△24,846
投資その他の資産合計	2,779,100	2,857,362
固定資産合計	11,518,514	11,240,477
資産合計	28,704,373	27,423,298

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,005,024	935,712
短期借入金	453,538	477,309
1年内返済予定の長期借入金	112,269	124,173
未払法人税等	245,132	22,889
賞与引当金	166,985	309,837
その他	1,216,403	1,236,910
流動負債合計	3,199,354	3,106,833
固定負債		
長期借入金	62,370	158,742
繰延税金負債	128,143	519,712
役員退職慰労引当金	49,440	—
退職給付に係る負債	539,794	587,088
その他	309,086	310,429
固定負債合計	1,088,835	1,575,972
負債合計	4,288,190	4,682,805
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,882,016	2,882,016
資本剰余金	4,133,694	4,031,173
利益剰余金	13,913,674	12,978,249
自己株式	△1,043,771	△1,044,019
株主資本合計	19,885,613	18,847,419
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	608,374	631,613
為替換算調整勘定	1,383,061	1,840,660
退職給付に係る調整累計額	135,063	166,213
その他の包括利益累計額合計	2,126,499	2,638,487
非支配株主持分	2,404,071	1,254,586
純資産合計	24,416,183	22,740,492
負債純資産合計	28,704,373	27,423,298

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
売上高	16,324,421	14,321,546
売上原価	12,438,335	11,295,259
売上総利益	3,886,086	3,026,286
販売費及び一般管理費	3,386,602	3,301,666
営業利益又は営業損失(△)	499,483	△275,379
営業外収益		
受取利息	102,047	130,216
受取配当金	31,899	36,186
為替差益	137,396	101,210
持分法による投資利益	38,557	24,190
技術指導料	50,277	39,914
その他	66,932	43,764
営業外収益合計	427,111	375,482
営業外費用		
支払利息	1,512	3,439
その他	1,143	2,146
営業外費用合計	2,656	5,586
経常利益	923,938	94,515
特別利益		
固定資産売却益	3,357	6,441
保険解約返戻金	66,685	—
投資有価証券売却益	—	28,180
特別利益合計	70,042	34,621
特別損失		
固定資産除売却損	6,126	13,197
減損損失	14,075	412,562
支払補償費	26,862	—
投資有価証券評価損	—	1,579
関係会社事業損失	—	244,518
特別損失合計	47,064	671,857
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	946,916	△542,720
法人税、住民税及び事業税	363,104	157,973
法人税等調整額	△5,372	46,280
法人税等合計	357,731	204,254
四半期純利益又は四半期純損失(△)	589,184	△746,975
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△45,920	9,612
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	635,105	△756,587

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	589,184	△746,975
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	141,751	23,239
為替換算調整勘定	1,006,068	446,751
退職給付に係る調整額	90,785	31,149
持分法適用会社に対する持分相当額	9,190	10,847
その他の包括利益合計	1,247,795	511,987
四半期包括利益	1,836,979	△234,987
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,681,441	△321,515
非支配株主に係る四半期包括利益	155,538	86,527

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(電子記録移転有価証券表示権利等の発行及び保有の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

「電子記録移転有価証券表示権利等の発行及び保有の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第43号2022年8月26日 企業会計基準委員会)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

(繰延税金資産の回収可能性にかかる見積りの変更)

当社は、第2四半期連結会計期間において、当連結会計年度の業績見通しを踏まえ、企業会計基準適用指針第26号「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」に示された分類の見直しを行いました。

当該見積りの変更により、当第3四半期連結累計期間の評価性引当額、繰延税金負債、法人税等調整額及び親会社株主に帰属する四半期純損失が231,868千円増加しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)の償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	827,810千円	797,090千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年3月1日至2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	日本	アジア	北米・中米	オセアニア	欧州	計		
売上高								
超硬工具関連事業	5,739,344	4,321,795	3,085,185	—	637,083	13,783,408	—	13,783,408
自動車部品関連事業	221,001	—	—	—	—	221,001	—	221,001
包装資材関連事業	—	—	—	1,795,352	—	1,795,352	—	1,795,352
その他	524,659	—	—	—	—	524,659	—	524,659
顧客との契約から生じる収益	6,485,004	4,321,795	3,085,185	1,795,352	637,083	16,324,421	—	16,324,421
外部顧客への売上高	6,485,004	4,321,795	3,085,185	1,795,352	637,083	16,324,421	—	16,324,421
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,495,552	598,262	668	—	51,772	3,146,254	△3,146,254	—
計	8,980,556	4,920,057	3,085,853	1,795,352	688,855	19,470,675	△3,146,254	16,324,421
セグメント利益又は損失(△)	127,900	△140,517	361,524	82,082	67,506	498,495	987	499,483

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「日本」セグメントにおいて固定資産の減損損失を14,075千円計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	日本	アジア	北米・中米	オセアニア	欧州	計		
売上高								
超硬工具関連事業	4,985,577	3,706,097	2,424,887	—	596,935	11,713,498	—	11,713,498
自動車部品関連事業	187,266	—	—	—	—	187,266	—	187,266
包装資材関連事業	—	—	—	1,745,408	—	1,745,408	—	1,745,408
その他	675,373	—	—	—	—	675,373	—	675,373
顧客との契約から生じる収益	5,848,217	3,706,097	2,424,887	1,745,408	596,935	14,321,546	—	14,321,546
外部顧客への売上高	5,848,217	3,706,097	2,424,887	1,745,408	596,935	14,321,546	—	14,321,546
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,808,657	545,571	△290	—	57,685	2,411,623	△2,411,623	—
計	7,656,874	4,251,669	2,424,596	1,745,408	654,621	16,733,170	△2,411,623	14,321,546
セグメント利益又は損失(△)	△552,175	△278,262	315,275	72,833	61,862	△380,466	105,086	△275,379

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「日本」セグメントにおいて固定資産の減損損失を412,562千円計上しております。